



## 組み立てマニュアル

- MDF材は柔らかい材質でできていますが、取り扱いの際は怪我などに十分注意してください。
- MDF板の表面と裏面に特に違いはありませんが、各パーツの向きに注意して組み立ててください。
- 全工程の動画をYouTubeにて配信しています。特に複雑な工程は、動画の視聴をお勧めいたします。  
(<https://www.youtube.com/channel/UCbw-JCjOwLwsOOzA74yGw5g>)

### 【付属品】組み立てる前にご確認ください。

- ・MDF板 (A~G) : 計7枚
- ・電源スイッチ×1
- ・電池ボックス×1
- ・カラーセンサー×1
- ・メインボード×1
- ・インターフェースボード×1
- ・スタートスイッチ×1
- ・キャスター×2
- ・モーター×2
- ・ゴム板×2
- ・アクリル板×2
- ・(o)の強化パーツ×2

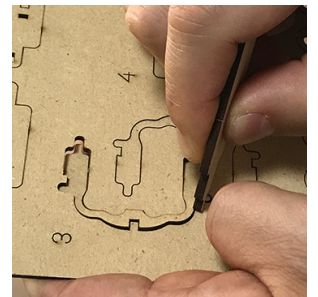
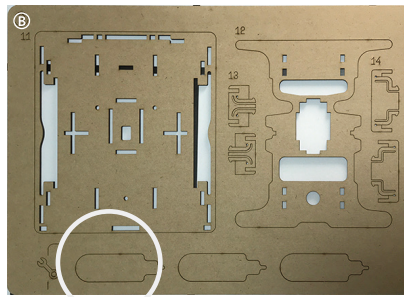
### 【用意するもの】

木工用ボンド (MDF材の接着時に使用)  
瞬間接着剤 (キャスター接着時に使用)  
ピンセット (細かい作業にあると便利です)

### 【組み立て時間の目安】

おとな一人で約1時間30分

各MDF板の左上にA~Gまで記号が書いてあります。



### a 付属品の確認と工具の準備

付属品を確認し、板Bの工具を抜きます。  
工具は各パーツをMDF板から抜く際に使用してください。

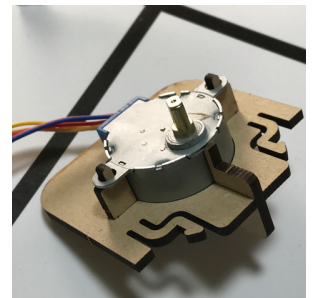
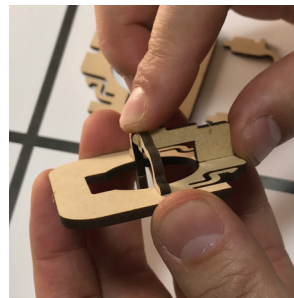
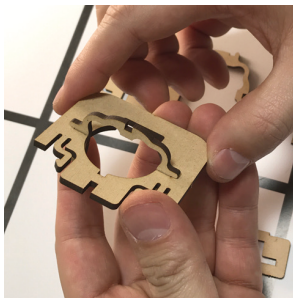
 工具×3 (予備×2を含む)

 このマークがあるものは予備パーツです。  
(板から抜かずに保管してください)

### b モーター受けを組み立てる(2組)

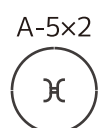
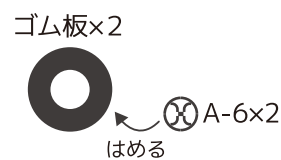
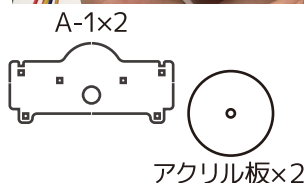
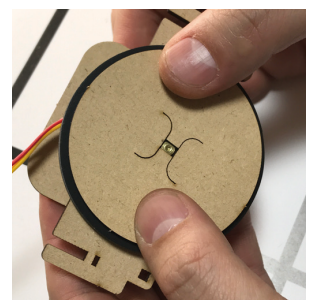
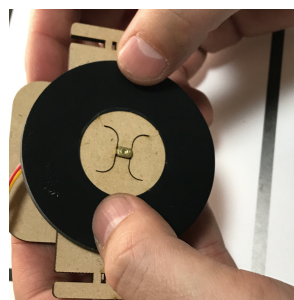
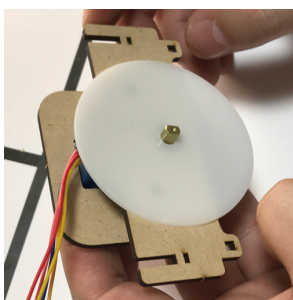
板Aの2, 3, 4を抜きます。2に3を差し込み、更に4を差し込みます。そこにモーターをはめます。

モーター A-2×2 A-3×2 A-4×2  
×2 



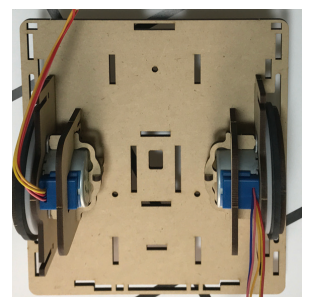
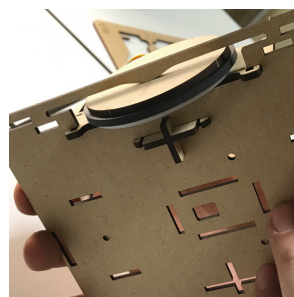
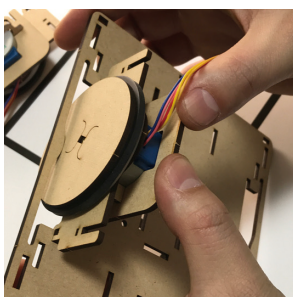
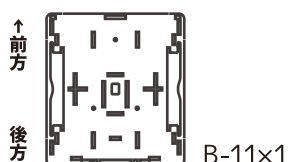
### c モーターにタイヤをつける

板Aの1, 5, 6を抜きます。アクリル板とゴム板も一緒に使います。bで作ったものに、1→アクリル板→ゴム板に6をはめたもの→5の順に、モーターの軸の長方形に合わせてはめます。左右のタイヤの完成です。



### d 底板にモーターをつける -①

板Bの11を抜き、cで作ったタイヤをはめていきます。カチャッと音がするまで強く押し込んでください。





## 底板にモーターをつける -②

板Aの7を抜きます。

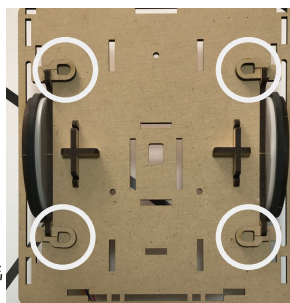


d (底面) のタイヤ横の溝に7を4箇所差し込み固定します。  
次に、d (内面) のタイヤ横の溝 (A-1) に7を4箇所差し込み固定します。

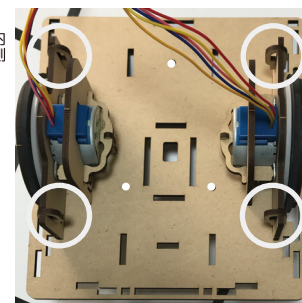


A-7  
×8

注) A-10とよく似ているので間違えないようにしてください。



d (底面)



d (内面)

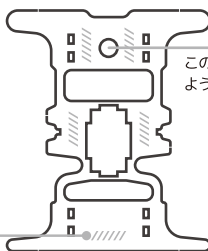
A-7の平らな面が外側を向くように差し込みます。



## 底板を補強する

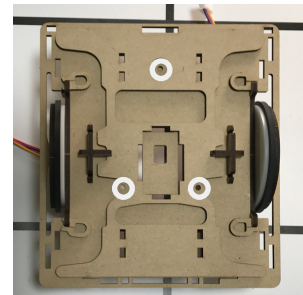
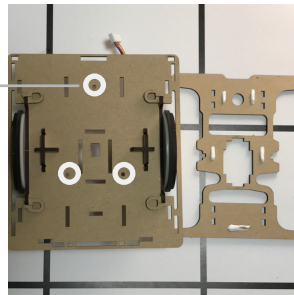
板Bの12を抜きます。12に木工用ボンドを5箇所塗り、d (底面) に接着します。その際、d (底面) に3箇所空いた穴を塞がないようにして12を重ねるよう注意します。

B-12×1



この穴を合わせるように重ねます。

ボンドを塗る箇所 (5箇所)



## サスペンションを組み立てる

板Aの8、9、10を抜きます。

8と9を重ねて、8のサイドから10を2箇所はめます。同じものを2組作り、出来上がったものを底板に差し込みます。

A-8×2

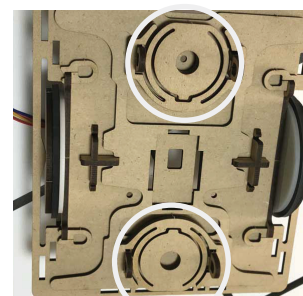
A-9×2



A-10  
×4



A-10  
= A-8  
= A-9



d (底面) に差し込みます。

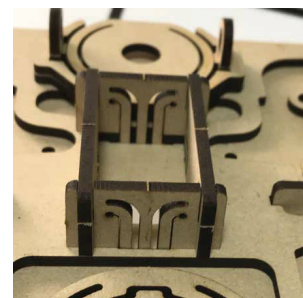
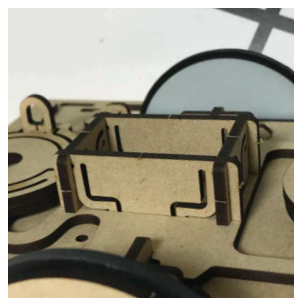


## カラーセンサーの囲いを組み立てる

板Bの13、14を抜きます。d (底面) の中央部分に13を2箇所平行にはめます。次に、13を上から抑えるように14を2箇所13と垂直にはめます。

B-13×2

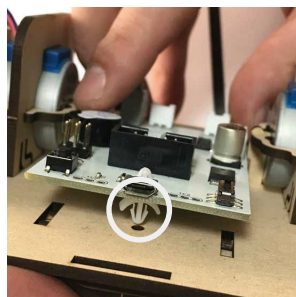
B-14×2



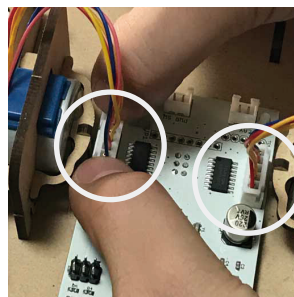
## メインボードを取り付け、モーター(2つ)とカラーセンサーを接続する



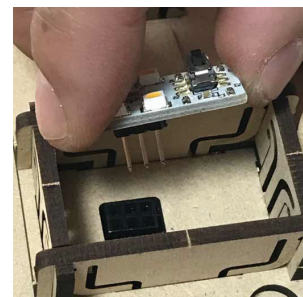
メインボードを準備し、d (内面) に差し込みます。メインボードの左右にある差し込み口にモーターのケーブルを差し込みます。次にカラーセンサーをhで作った囲いの中に出ているメインボードに差し込みます。



d (内面) にある丸い穴 (3箇所) に、メインボードの爪を差し込みます。



モーターのケーブルをメインボードに差し込みます。



d (底面) に付けたhの囲いの中にメインボードが顔を出すので、カラーセンサーを差し込みます。



メインボード×1

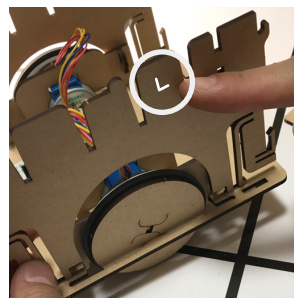
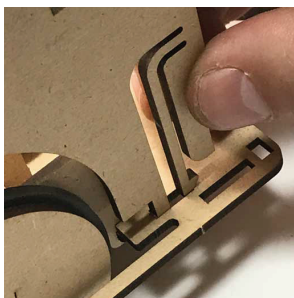
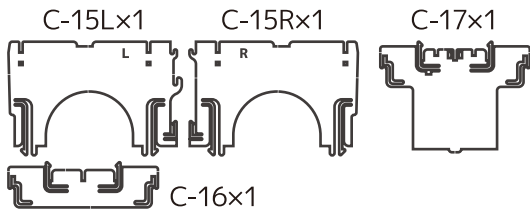


カラーセンサー×1

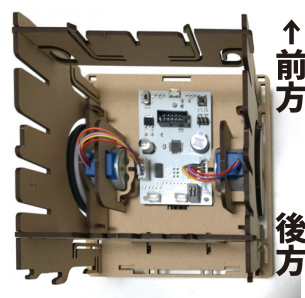


## 左右の側板を取り付ける

板Cの15、16、17を抜きます。15をiの両脇に（LとRの文字が外側から読めるように向きを確認し）タイヤの真上から差し込みます。次に前後を確認し、15の前方に16を、後方に17を差し込みます。



LとRの文字を外側から確認します。



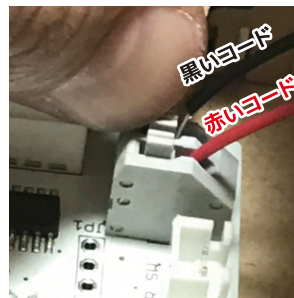
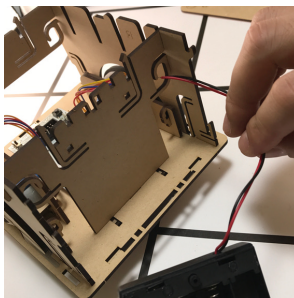
前方に16、後方に17を差し込みます。



## 電池ボックスをメインボードに接続する



電池ボックスのコードを17の右側の隙間に通します。メインボードの右後ろにある部品に黒いコード（外側）と赤いコード（内側）を差し込みます。ボタンを押しながらコードの先端を差し込み、ボタンを離すと引っ張っても取れなくなります。電池ボックスの裏にあるON/OFFスライドを17にある穴に合わせて置きます。

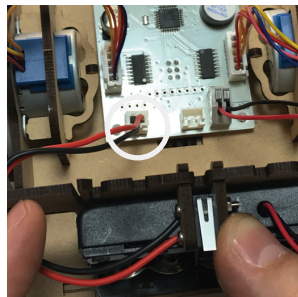
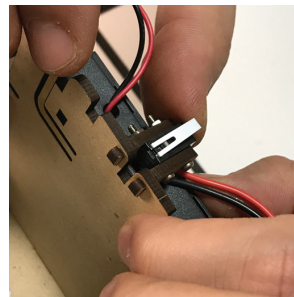
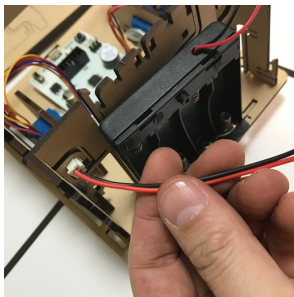


ボタンを強く押し込むと戻りづらいので、軽く押します。（コードをピンセットでつまむと作業がはかどります。）



## スタートスイッチをメインボードに取り付ける

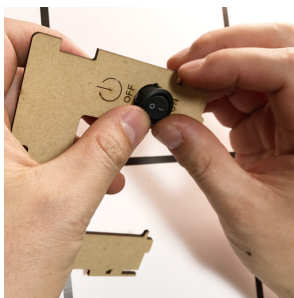
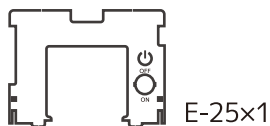
スタートスイッチを準備し、17の左側の隙間から、スタートスイッチのコードを入れます。17の上部中央の2つの穴に、スタートスイッチを差し込みます。スタートスイッチの端子をメインボード後方の「PLAY SW」に差し込みます。



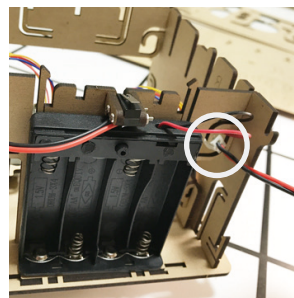
## 電源スイッチを組み立ててメインボードに接続する



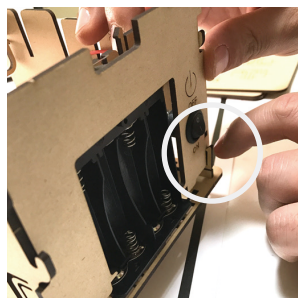
板Eの25を抜き、電源スイッチをはめます。電源スイッチのコードをkの電池ボックスのコード同様、後方右側の隙間から通します。25をlの後方に差し込みます。電源スイッチの端子をメインボード後方の「PWR SW」に差し込みます。



スイッチの○印が上（OFFの位置）になるようにはめます。



後方（C-17）右側の隙間にコードを通します。



引っかかりを手前にして差し込みます。

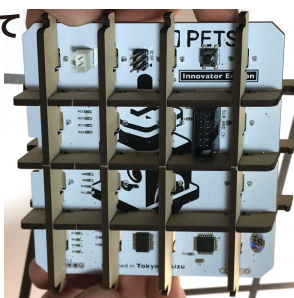
※今回は予めネジ止めをした為、C-18は板から抜き出しません。不明点がございましたら、PETSフォーラムにてお問合せください。



## インターフェースボードを組み立ててメインボードに接続する



板Dの21、22を抜きます。22をインターフェースボード裏面のPETSくんに対して横に、21を縦にはめていきます。次に、メインボードとインターフェースボードをケーブルで繋ぎ、インターフェースボードを本体上部にはめます。

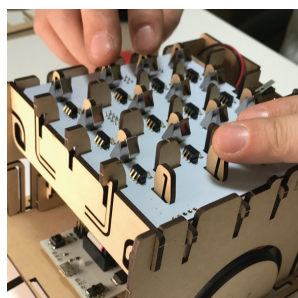


先に22を横向きに3つはめてから、21を縦向きに4つはめます。



ボードの向きは  
PETSくんの頭が右！

直角に曲がった方をメインボード前方の黒い接続口に差し込みます。次に反対側をインターフェースボードの裏面の接続口に差し込みます。



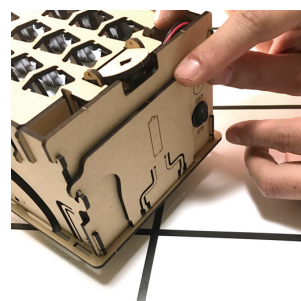
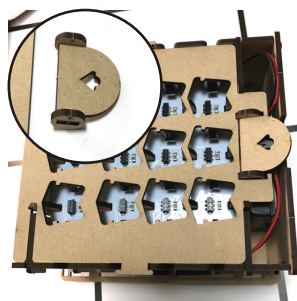
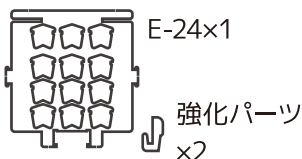
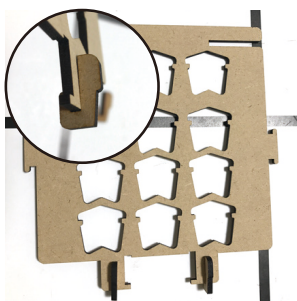


## スタートスイッチとブロック受けを組み立てる

板Eの24を抜き、付属の強化パーツを差し込み、インターフェースボードの上からはめめます。

板Cの19、20を抜き、20の両サイドに19をはめめます。それを24の後方のスタートスイッチ部分に置きます。

次の工程でスイッチを固定するので、この時点では置いたままで大丈夫です。  
板Dの23を抜き、本体後方の電池ボックスにカバーになるようにはめめます。



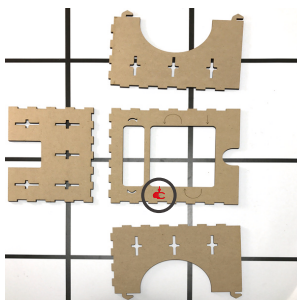
## 外装カバーを組み立てる



板Eの26、板Fの27、板Gの28、30を抜きます。26、27、28を展開図になるように配置してください。

各パーツの凸部分に木工用ボンドを塗り、組み立てます。

十分にボンドが乾いたら、外装カバーを上から本体にはめ、後方にスライドさせます。次に、30を前方に差し込みます。



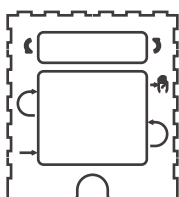
G-28は裏返して、手の位置が左になるよう配置します。



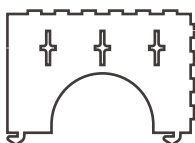
凸部分に木工用ボンドを塗ってから組み立てます。ボンドがはみ出した部分は、ティッシュなどですぐに拭きます。



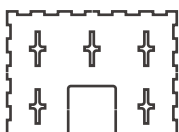
G-28x1



F-27x2



E-26x1

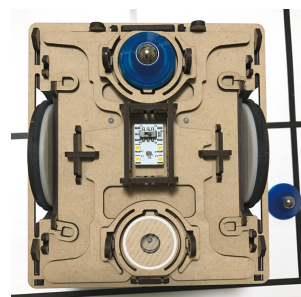
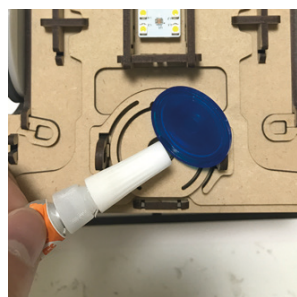


G-30x1



## キャスターを取り付ける

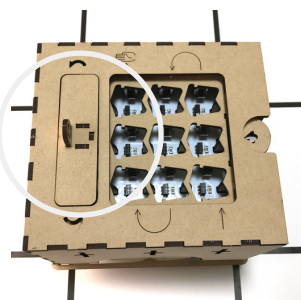
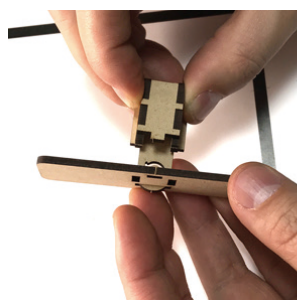
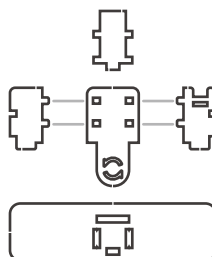
底面のキャスター（2箇所）を瞬接着剤で取り付けます。その際、キャスターの縁に接着剤を塗り、PETS本体（底面）のキャスター取り付け箇所（円の一番小さい部分）に正確に接着する必要があります。



## ループエリアのカバーを組み立てる

板Gの29を抜き、それらを組み立てます。カリキュラム当初はループエリアを使わないため、カバーをしてください。

G-29（一式）



これで完成です。万が一破損した場合には、予備パーツを使用してください。

販売元：株式会社 for Our Kids

【お問合せ窓口】ご不明点など、PETSフォーラムにてお問合せ下さい。組み立て方の動画はYouTubeで配信しています▶

PETSフォーラム（参加リクエストが承認されるとフォーラムに参加できます）

<https://www.facebook.com/groups/petsforum4ok/>

PETS製品サイト

<http://4ok.jp/pets/>



組み立て動画

YouTube

